



# Cisco MeetingPlace Audio Server システムの保守

---

この章では、Cisco MeetingPlace Audio Server システムを保守（修理ではない）する方法について説明します。Cisco MeetingPlace Audio Server システムの修理については、Cisco TAC にお問い合わせください。Cisco TAC へのお問い合わせ方法については、『*Guide to Cisco Conferencing Documentation and Support*』を参照してください。

## 電源ユニット ファン フィルタについて (Cisco MeetingPlace 8112 のみ)



(注) この保守作業は Cisco MeetingPlace 8112 だけを対象としています。Cisco MeetingPlace 8106 の電源ユニットのファンにはフィルタがありません。

電源ユニット ファン フィルタは定期的に交換する必要があります。交換の頻度は、空気中のダストの量によって異なります。1年に1回を目安として交換する必要があります。

また、次のいずれかのアラームが発生した場合には、すぐに電源ユニットのファンとフィルタを調べてください。

- 0x70034 (MAJOR) 温度が範囲外
- 0x700BB (MINOR) 電源ユニット ファン N で障害発生
- 0x700C6 (MINOR) 電源ユニット N の冷却障害

## 電源ユニット ファン フィルタの交換

電源ユニット ファン フィルタを交換するには、次の手順に従います。

- [古い電源ユニット ファン フィルタの取り外し \(P.7-2\)](#)
- [新しい電源ユニット ファン フィルタの取り付け \(P.7-3\)](#)
- [電源ユニット ファン フィルタのテスト \(P.7-3\)](#)



警告

露出したリード線、端子、コンポーネントにはいっさい手を触れないでください。この製品では、人が死亡する可能性のある危険な電圧がかかっている場合があります。



(注) CLI コマンドでは、大文字と小文字が区別されます。CLI コマンドについては、『*Configuration Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3*』を参照してください。

## 古い電源ユニット ファン フィルタの取り外し

- ステップ 1** フィルタの左上隅にある金属のつまみを使用して、フィルタ フレームの上端を引き出します。
- ステップ 2** ファン フィルタのフレームを少し傾けて上に引き出し、電源ユニットと電源ユニットのハンドルの間を滑らせて取り外します。
- ステップ 3** 電源ユニット ファン フィルタをフレームから取り外します。

## 新しい電源ユニット ファン フィルタの取り付け

**ステップ 1** 新しい電源ユニット ファン フィルタを電源ユニット ファン フィルタ フレームに滑らせて入れます。

**ステップ 2** 新しい電源ユニット ファン フィルタ フレームを電源ユニットと電源ユニットのハンドルの間に設置します。



(注) 新しい電源ユニット ファン フィルタ フレームにある金属つまみの位置が左上隅となる状態が、正しい向きです。

**ステップ 3** 新しい電源ユニット ファン フィルタ フレームを所定の位置に丁寧に設置します。



(注) ロックされる位置はないので、新しい電源ユニット ファン フィルタ フレームが動かないことを確認してください。ただし、力を強くかけすぎないように注意してください。

## 電源ユニット ファン フィルタのテスト

**ステップ 1** CLI に `technician` としてログインします。 `tech$` プロンプトが表示されます。

**ステップ 2** 端末セッションをロギングします。ロギングについては、[P.4-4](#) の「[HyperTerminal セッションのロギング](#)」を参照してください。

**ステップ 3** `hwconfig` と入力します。

**ステップ 4** 電源ユニットとファンに対応する出力が、[例 7-1](#) の行 9～12 (太字の行) のようになることを確認します。



(注) フロッピー ドライブと CD-ROM ドライブは設置されて実行されていても、`hwconfig` コマンド出力に表示されません。

## 例 7-1 電源ユニット ファン フィルタのテスト

```
meetingplace:tech$ hwconfig
Cabinet: Motorola CPX8216T
Bus architecture: CompactPCI
Processor card: CPV5370 S/N=5129443
  Processor: Pentium III, Model 8, 700 MHz
  Memory: 512 MB
  Temperature: 31C
  Voltages: 3.32V, 5.02V, 12.06V
Power Supplies:
  PS1: OK, fan is OK
  PS2: OK, fan is OK
  PS3: OK, fan is OK
SCSI Adapter: NCR 810
  DISK 1: 36000MB (SEAGATE ST336704LW REV=0004)
  DISK 2: 36000MB (SEAGATE ST336704LW REV=0004)
  Solid State Disk: IMPERIAL "MG-35/400 ULTRA" S/N=0128 REV=B403
  Battery: usage = 307 days, charge is OK
Ethernet: Intel 8225x PCI 10/100 (0001af03c05e)
Modem: Absent or unrecognized
Smart Blades:
  Slot 16: NMS CG6000C S/N=20363257 REV=5894-B2 MSC0 PRC0
  Slot 15: NMS CG6000C S/N=20363261 REV=5894-B2 MSC1 PRC1
```

---

## サーバ ディスク容量のモニタリングについて (オプション)

Cisco MeetingPlace Audio Server システムのディスク使用を監視することができます。Cisco MeetingPlace システムは、指定された使用しきい値に到達するか超過すると、アラームを発行します。しきい値は、現在使用されている特定ファイルシステムの割合を示します。一般に、しきい値としては 90 % が適しています。



(注) 警告をより早く得るために 90 より低い数字を使用することはできますが、通常の状態ではアラームが発生する可能性があります。90 を使用することをお勧めします。

### サーバ ディスク容量のモニタリングの有効化

- ステップ 1 CLI に technician としてログインします。tech\$ プロンプトが表示されます。
- ステップ 2 端末セッションをロギングします。ロギングについては、[P.4-4](#) の「HyperTerminal セッションのロギング」を参照してください。
- ステップ 3 **configdiskcap** と入力します。
- ステップ 4 使用しきい値の容量を変更するファイルの番号を入力します。[例 7-2](#) では /lat/db ファイル (ファイル 2) の使用しきい値の容量を変更するので、**2** と入力します。
- ステップ 5 このファイルの新しい使用しきい値を入力します。[例 7-2](#) では使用しきい値の容量を 95 % にするので、**95** と入力します。
- ステップ 6 **s** と入力して、変更内容を保存し **configdiskcap** コマンドを終了します。

**例 7-2 サーバディスク容量のモニタリングの有効化**

```
meetingplace:tech$ configdiskcap
+++++
Disk Capacity Monitor Configuration
+++++
Capacity values are utilization percentage thresholds.
A major alarm will be raised if a threshold is exceeded.

Select a file system threshold to modify when prompted.

Values must be between 60 and 99; a capacity
of 0 disables checking for that file system.
```

```
      CAP% FILESYSTEM
      ====
1) 0    /
2) 0    /lat/db
3) 0    /tmp
4) 0    /lat/fs.1
5) 0    /lat/fs.2
6) 0    /lat/fs.3
```

```
Select an item to modify, s to save and exit,
or q to quit without saving: 2
enter new value for /lat/db: 95
```

```
      CAP% FILESYSTEM
      ====
1) 0    /
2) 95   /lat/db
3) 0    /tmp
4) 0    /lat/fs.1
5) 0    /lat/fs.2
6) 0    /lat/fs.3
```

```
Select an item to modify, s to save and exit,
or q to quit without saving: s
```

---